

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）				
地区名	一般県道 <small>ひがしおのみ おかざき</small> 東大見岡崎線				
事業箇所	<small>おかざきしいつしきちょう</small> 岡崎市一色町				
事業のあらまし	本路線は、 <small>おかざき</small> 岡崎市中心部より <small>とよた</small> 豊田市（ <small>しもやま</small> 下山地区）を結ぶ道路であり、トヨタテストコースへアクセスする主要道路になる。テストコース全面運用に伴い大幅な交通の増加が見込まれる。当事業区間は歩道がない状態にあり。歩行者は常に危険な状況にさらされている。このため早急に歩道の整備を進め、交通の円滑化及び安全な歩行空間の確保を図る必要がある。				
事業目標	【達成（主要）目標】 歩行者等の安全性の確保 【副次目標】 （必要に応じて記載する） -				
計画変更の推移		事業採択時 (2010年度)	再評価時 (2025年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2010年度～2024年度	2010年度～2029年度	用地交渉長期化につき 事業期間延伸	
	事業費（億円）	3.5	3.5	-	
	経費内訳	工事費	2.2	2.2	-
		用補費	0.5	0.5	-
その他		0.8	0.8	-	
事業内容	歩道設置 L=0.41km	歩道設置 L=0.41km	-	-	
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・当該区間は、小学校の通学路にもなっているが歩道がなく狭小な路肩を通行する危険な状況となっており歩行者・自転車の安全確保が図られていない。 【再評価時の状況】 ・再評価時においても歩道がなく狭小な路肩を通行する危険な状況となっている。 【変動要因の分析】 ・変動要因はなし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。		

		<p>【理由】 事業着手時に比べ危険な状況は変わっておらず、事業の必要性は変わっていないと判断される。</p>																																																																																																																																															
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2010</th> <th>～</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="14">←—————→</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="14">←—————→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="14">←—————→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="3">1.7</td> <td colspan="3">1.8</td> <td colspan="3">0</td> <td colspan="3">3.5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">1.7</td> <td colspan="3">0.4</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">3.5</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">1.7</td> <td colspan="3">0.4</td> <td colspan="3">1.4</td> <td colspan="3">3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.41</td> <td>0.25</td> <td>61</td> <td>0.41</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.5</td> <td>2.1</td> <td>60</td> <td>3.5</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>2.2</td> <td>0.8</td> <td>36</td> <td>2.2</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> <td>60</td> <td>0.5</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>88</td> <td>0.8</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 歩道設置 L=250m (全体延長 L=410m)</p>			2010	～	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計	工種 区分	調査・設計	←—————→														用地補償	←—————→														工事	←—————→														事業費 (億円)	当初計画	1.7			1.8			0			3.5			実績	1.7			0.4						3.5			今回計画	1.7			0.4			1.4			3.5				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.41	0.25	61	0.41	61	事業費(億円)	3.5	2.1	60	3.5	60	工事費	2.2	0.8	36	2.2	36	用補費	0.5	0.3	60	0.5	60	その他	0.8	0.7	88	0.8	88
			2010	～	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計																																																																																																																																	
	工種 区分	調査・設計	←—————→																																																																																																																																														
		用地補償	←—————→																																																																																																																																														
		工事	←—————→																																																																																																																																														
	事業費 (億円)	当初計画	1.7			1.8			0			3.5																																																																																																																																					
		実績	1.7			0.4						3.5																																																																																																																																					
		今回計画	1.7			0.4			1.4			3.5																																																																																																																																					
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																												
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																											
延長(km)	0.41	0.25	61	0.41	61																																																																																																																																												
事業費(億円)	3.5	2.1	60	3.5	60																																																																																																																																												
工事費	2.2	0.8	36	2.2	36																																																																																																																																												
用補費	0.5	0.3	60	0.5	60																																																																																																																																												
その他	0.8	0.7	88	0.8	88																																																																																																																																												
2) 未着手又は長期化の理由	用地交渉の長期化によるため。																																																																																																																																																
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 特になし。</p> <p>【今後の見込み】 事業期間を延伸することで、2029年度の整備完了を目指す。</p>																																																																																																																																																
判定	<p>B</p> <p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ ．これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 事業期間を延伸し、用地買収について鋭意交渉を進めることで、ほぼ計画通りの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																

Ⅲ 対応方針

継続

中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。
継続：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

歩行者等の安全性の確保

